



平成 23 年 8 月 23 日豪雨災害 (小坂町大垣内地内)

災害から命を守るために

# 台風・集中豪雨に 備えよう！

## 局地的な大雨に注意

暴風や豪雨災害の発生のおよそ6月、7月、8月、9月に集中しています。この期間は特に、気象状況に注意が必要となります。

また、最近では「ゲリラ豪雨」と呼ばれる局地的な大雨も発生しています。こういった災害から身を守るためには、私たち一人一人が日頃から備えておくことが重要となります。

## 土砂災害に備えろ

下呂市は地形的にも土砂災害の発生しやすい地域です。どんな対策を行っていても、自然の力が勝れば災害は発生します。過去に災害が発生した被災者の声には「こんなことは初めてなので」「これまで雨による災害なんてなかったのに、避難の呼びかけは知っていたが、避難しなかった。消防の人たちに助けていただかなければ、どうなっていたか…」といったことがありました。これまで大丈夫だったから、今後大丈夫であるという保障はないことを認識し、適切な対応が必要となります。

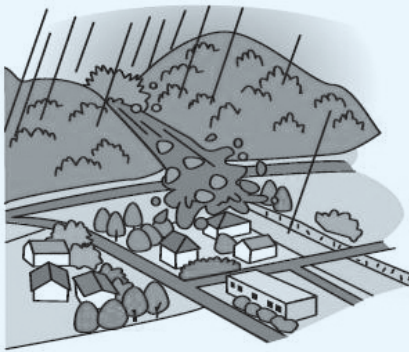
左ページのような場所で災害の兆候が見られた場合は、早めの避難を実施してください。

## 土石流

土石と水が一体となって流れ落ちる現象。昔から「山津波」とか「鉄砲水」といって恐れられています。

### 【前ぶれ】

- 山鳴りや木立のさけるような音、ドンといった音がする。
- 雨が降り続けているのに、川の水が急に減り始める。
- 川の水が濁ったり、流木が流れてくる。



## 斜面崩壊

がけ崩れ、山崩れなど突発的かつ急速に起こることが多いのが特徴です。

### 【前ぶれ】

- 小石がバラバラと落ちてくる。
- がけから水が湧いてくる。
- がけにひび割れができる。



## 地すべり

粘土などのすべりやすい層を境に、その上の土がそっくり動き出す現象です。

### 【前ぶれ】

- 地面にひび割れができる。
- 地面の一部が陥没したりする。
- 沢や井戸の水が濁る。
- がけや斜面から水が噴き出す。



## 避難のあり方にツイマ

大雨時の最適な避難行動を、一律の行動パターンで示すことは困難です。市民の皆さんの一人一人が、状況に応じて自ら判断し、自分の命を守るために適切な行動を選択しなければなりません。

◆実際に「豪雨災害時避難勧告」が発令され、避難した人々への聞き取り調査結果では

①戸締り、着替え、貴重品の持ち出し・整理などで、家を出るまでに平均14分要しています。

②歩行速度は昼間で平均1分間に51・6メートル。夜間で雨中（懐中電灯使用）の場合は、1分間に18メートルまで歩行速度が落ちるといわれています。

すぐに避難できるよう、また夜間や豪雨時の避難は避けるよう、早めの避難行動が大切です。隣近所に声を掛け合って、お年寄りや障がい者などの避難支援を行いましょ。

【総務部・防災情報課】

## ◆大雨が降り出したら



地域の水防活動に協力しましょう。



がけ地や河川の近くでは、隣近所で声を掛け合い、早めに避難の準備をしましょう。



市からの防災行政無線に注意し、テレビやラジオ・インターネット等で情報を収集しましょう。